

平成 26 年（2014 年）の北海道駒ヶ岳の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○発表中の火山現象に関する警報等及び噴火警戒レベル

平成 19 年 12 月 1 日 10 時 08 分	噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）
----------------------------	--------------------

○2014 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1 - ~、図 2 ~ 6）

遠望カメラによる観測では、昭和 4 年火口の噴気は観測されませんでした。

5 月 30 日、6 月 1 ~ 2 日に実施した現地調査、10 月 7 日に実施した上空からの観測（北海道の協力による）では、昭和 4 年火口や明治火口などに従来から認められているごく弱い白色の噴気がみられました。また、赤外熱映像装置¹⁾による観測では、各火口の地表面温度分布に変化はみられませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図 1 - ~、図 7）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。震源は山頂火口原の浅い所に分布しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 8 ~ 9）

GNSS連続観測²⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、北海道、森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号 平 26 情使、第 578 号)。また同院発行の『数値地図 25000 (地図画像)』を複製していません (承認番号 平 26 情複、第 658 号)。

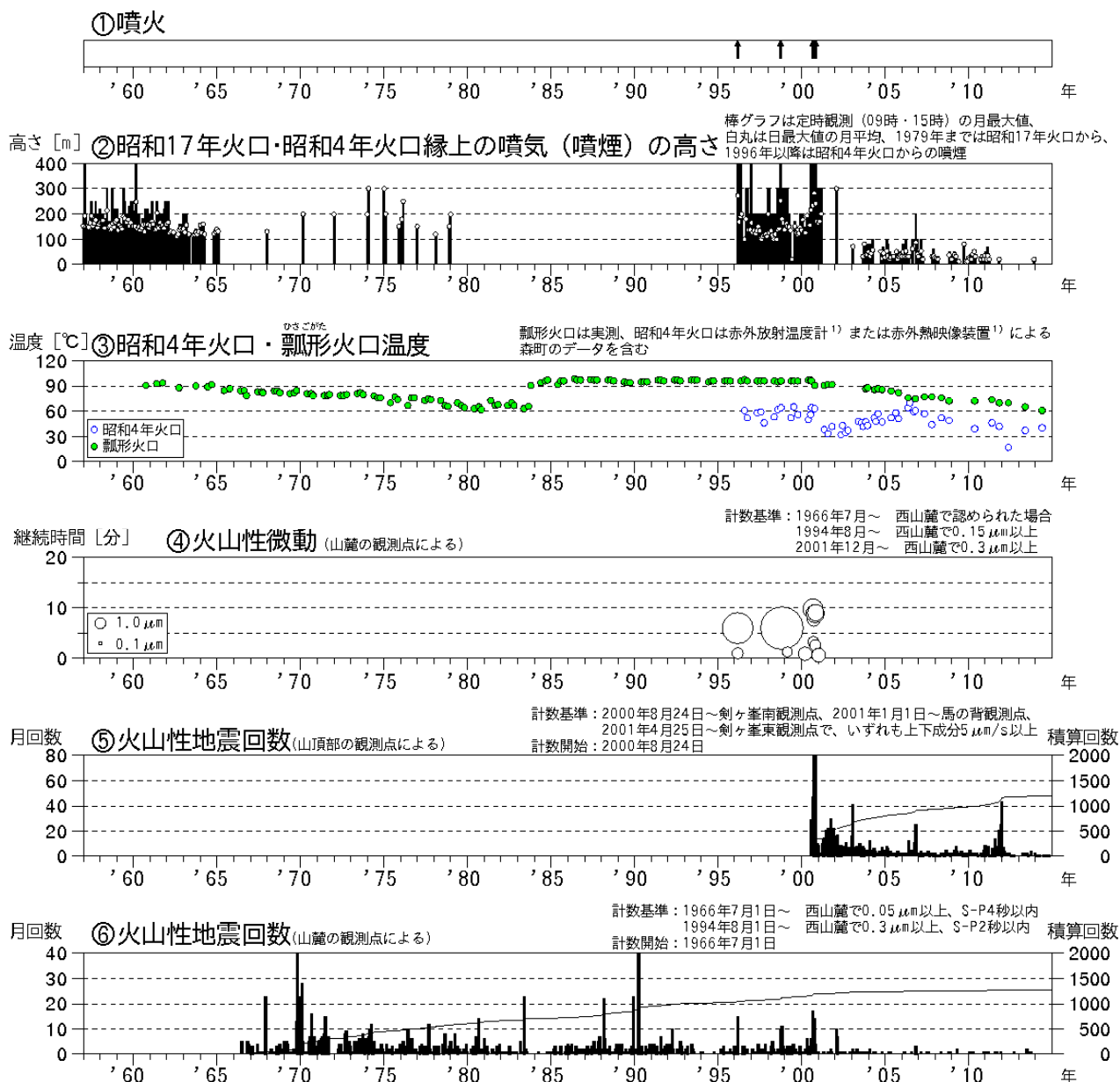


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図（1957年1月～2014年12月）



図2 北海道駒ヶ岳 東南東側から見た山頂部の状況
(12月28日、鹿部公園南東遠望カメラによる)

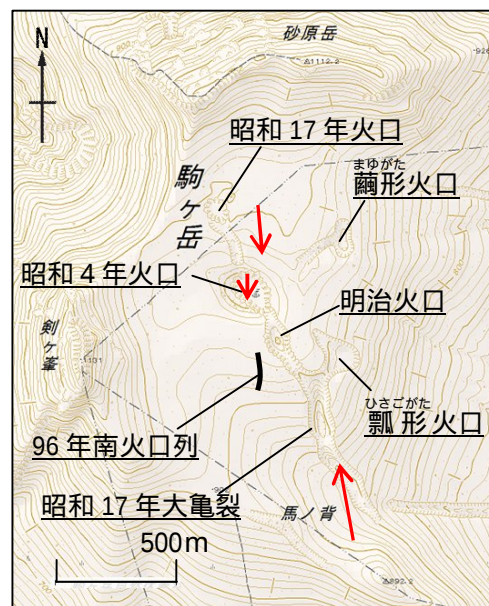


図3 北海道駒ヶ岳 火口周辺図



図4 北海道駒ヶ岳 山頂火口原の状況 南側上空(図3 - の矢印方向)から撮影

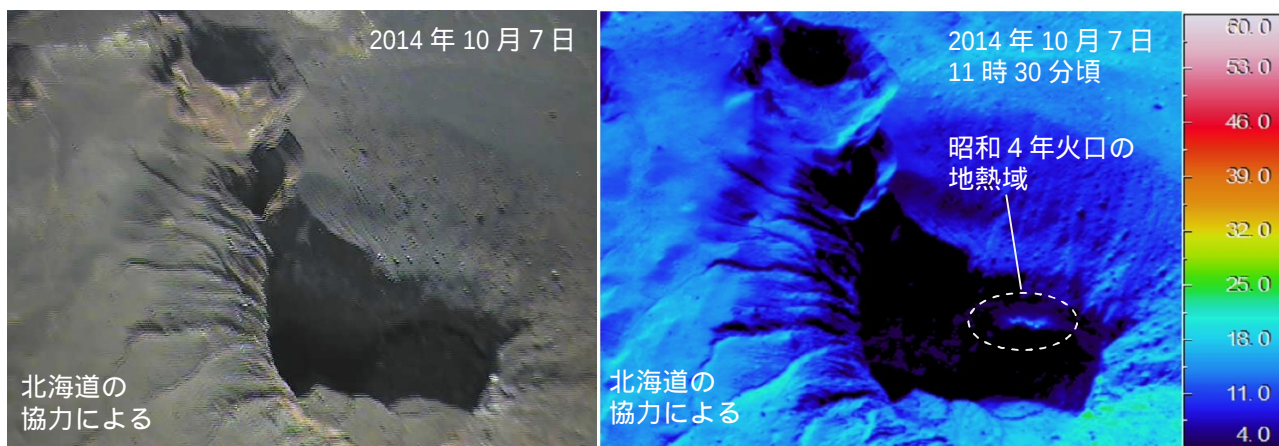


図5 北海道駒ヶ岳 昭和4年火口内の地表面温度分布
北側上空(図3 - の矢印方向)から撮影

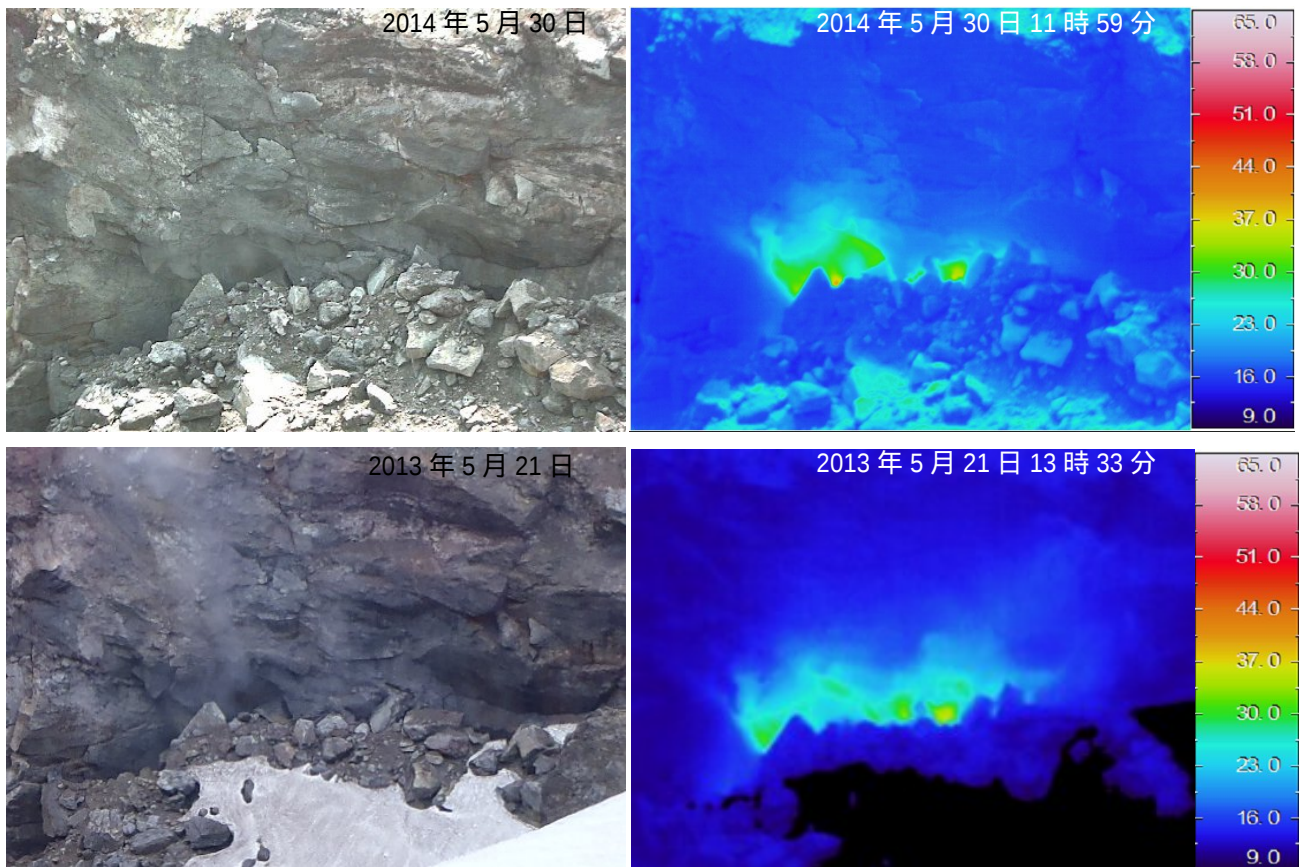


図 6 北海道駒ヶ岳 昭和 4 年火口内の地表面温度分布
北側火口縁（図 3 - の矢印方向）から撮影

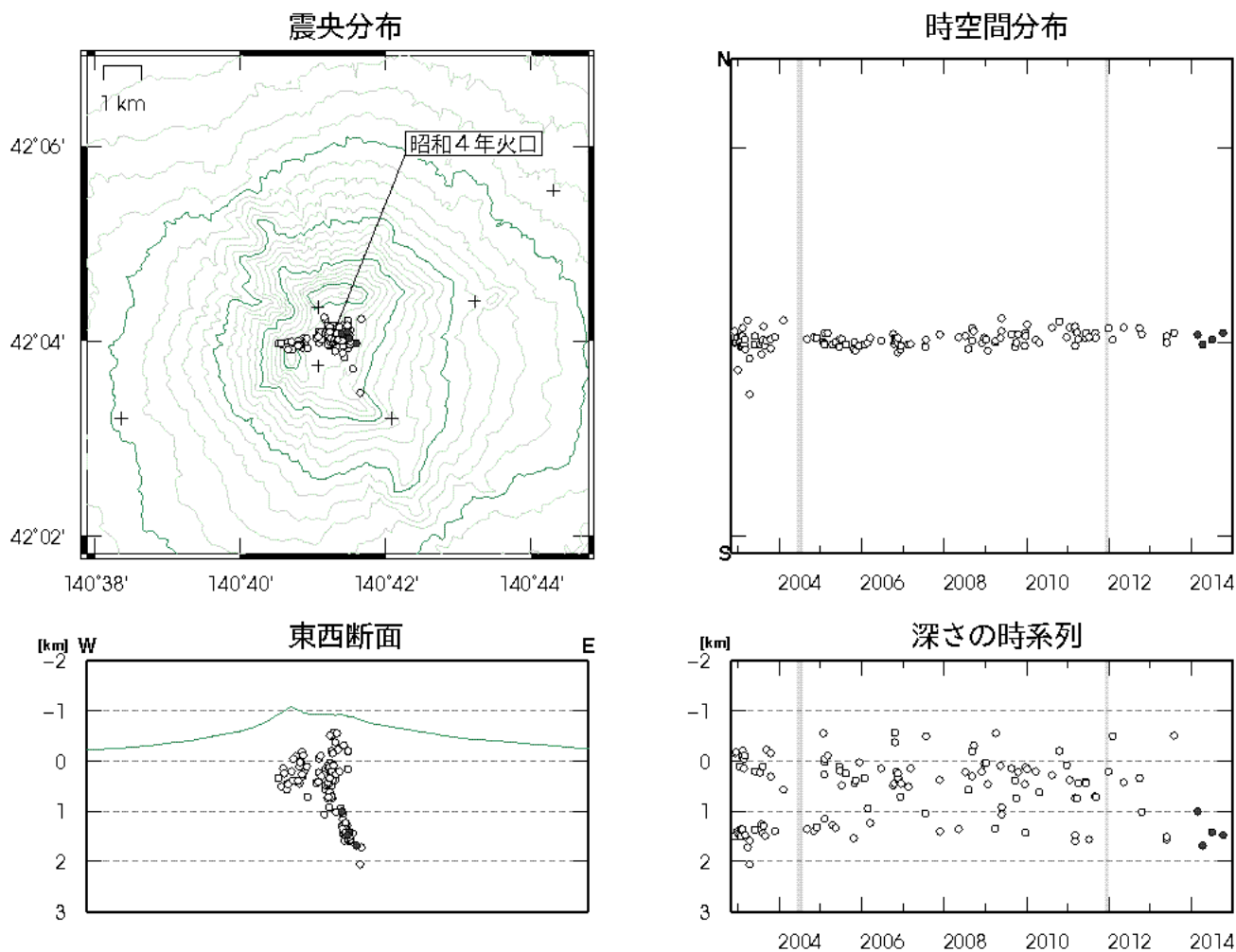


図 7 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布（2002年11月～2014年12月）
 灰色の期間は一部観測点欠測のため震源の決定数減少や精度低下が見られます
 ○印：2013年以前の震源
 ●印：2014年の震源
 +印：地震観測点

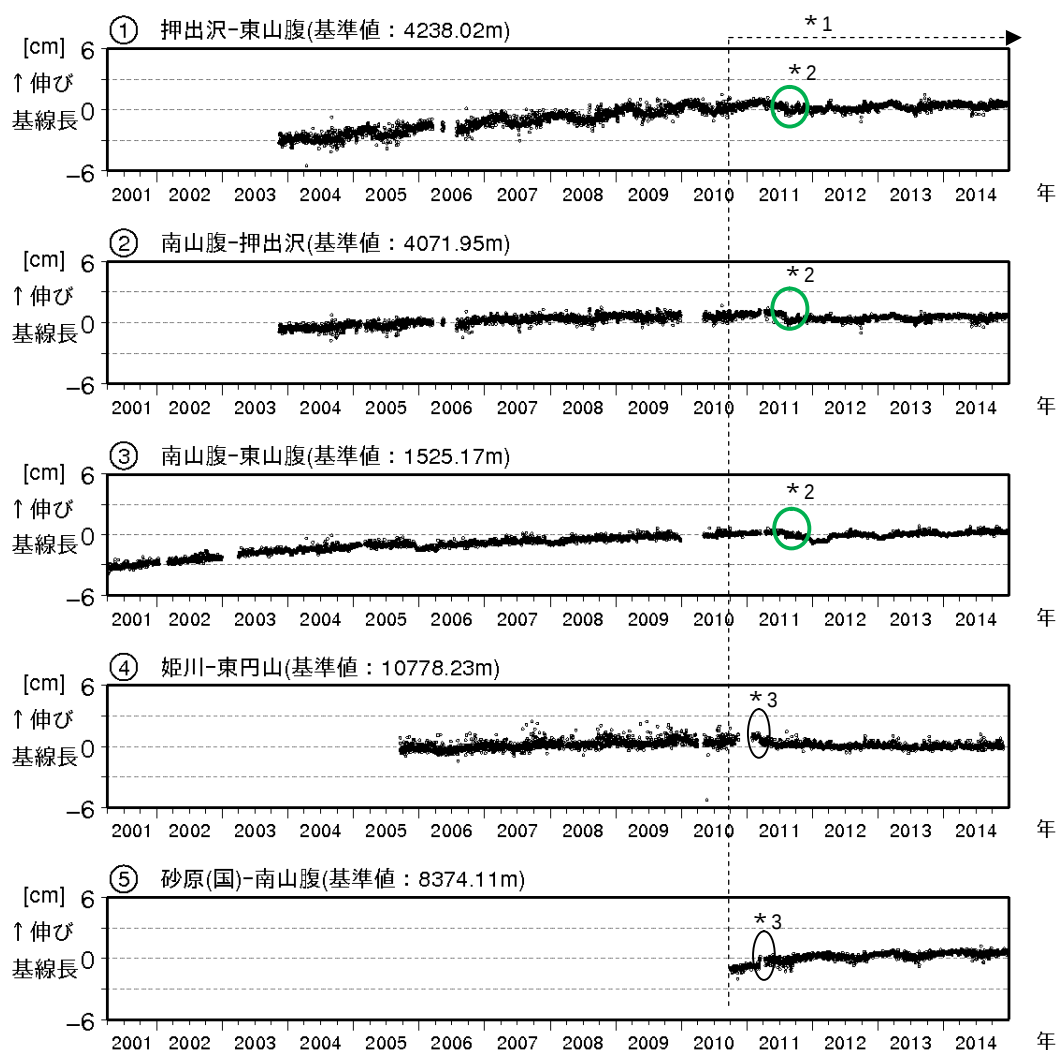


図 8 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化 (2001年4月～2014年12月)

・GNSS基線 ～ は図9の ～ に対応しています

・グラフの空白部分は欠測を示します

* 1 : 2010年10月以降のデータについては、解析方法を改良して精度を向上させています

* 2 : 緑円内の変動は、機器更新によるものです

* 3 : 楕円内の変動は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません

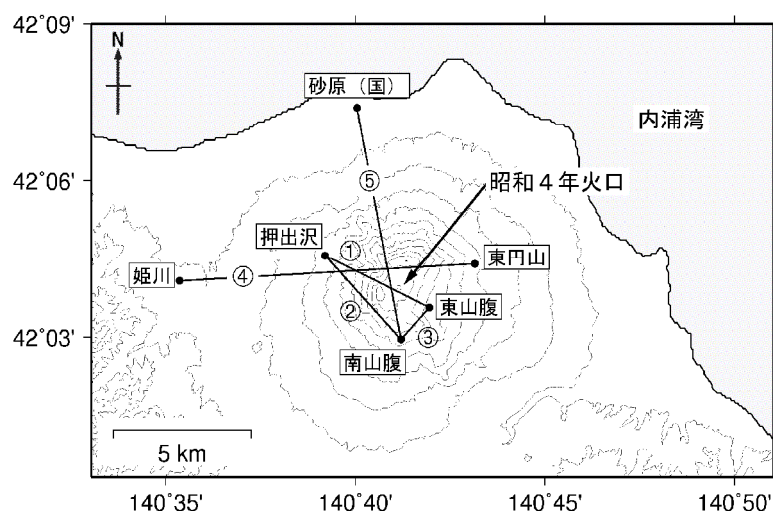


図 9 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測点配置図
(国): 国土地理院

観測点情報

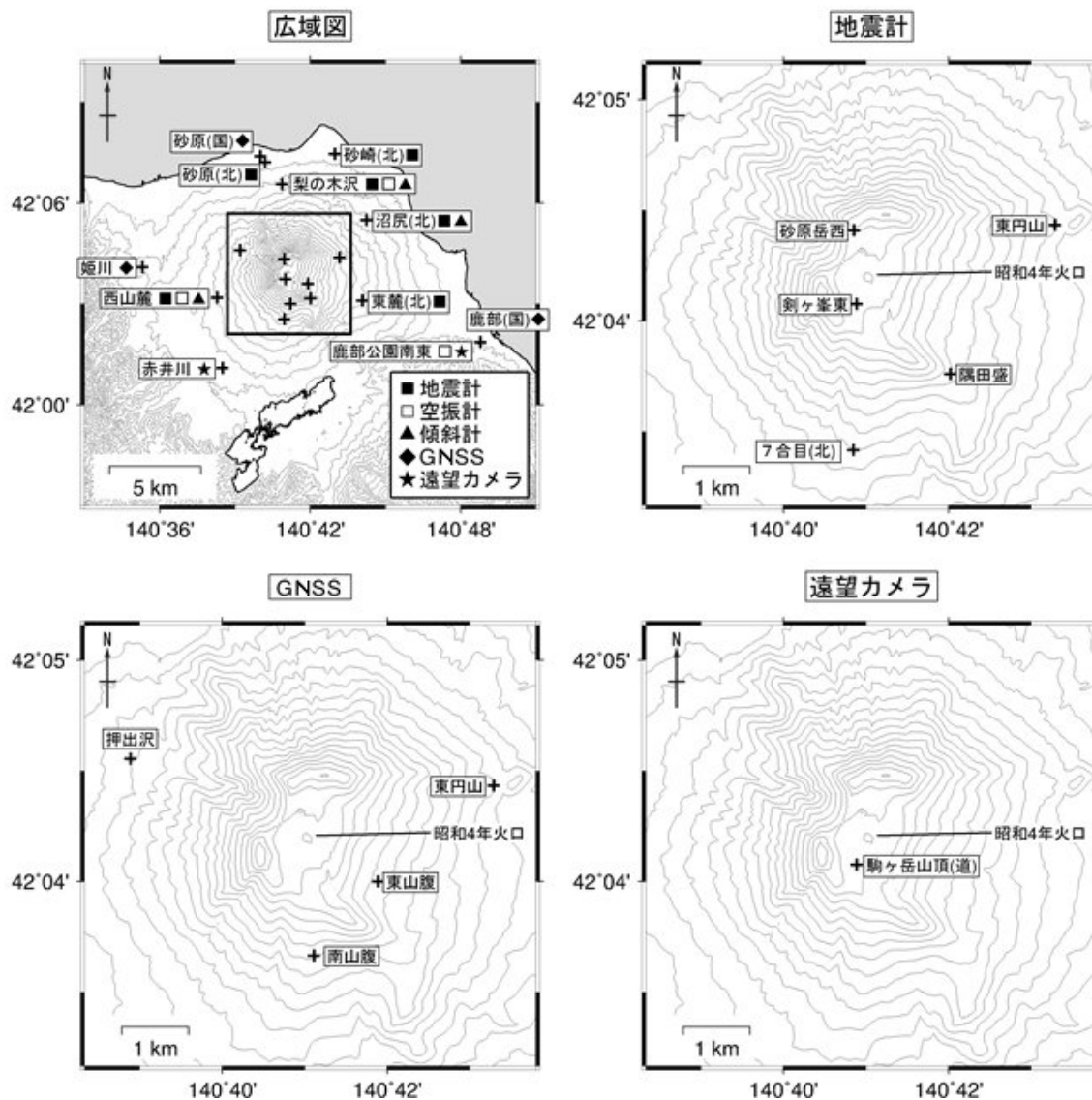


図10 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

広域図内の口は地震計、GNSS・傾斜計、空振計・遠望カメラそれぞれの範囲を示します
+ は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学

(道) : 北海道

観測点一覧表 北海道駒ヶ岳（気象庁設置分、緯度・経度は世界測地系）
記号は図10に対応しています。

記号	観測機器	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日
			緯度 (度分)	経度 (度分)	標高 (m)		
■	地震計	西山麓	42 03.19	140 38.29	265	0	1966 年 7 月 1 日
		剣ヶ峯東	42 03.74	140 41.00	920	-1	2001 年 4 月 25 日
		砂原岳西	42 04.34	140 40.97	1035	0	2001 年 9 月 19 日
		隅田盛	42 03.17	140 42.02	677	-1	2002 年 11 月 15 日
		東円山	42 04.38	140 43.16	458	-1	2002 年 11 月 22 日
		梨の木沢	42 06.55	140 40.89	122	-100	2010 年 9 月 1 日
□	空振計	西山麓	42 03.2	140 38.3	265	3	2000 年 12 月 2 日
		鹿部公園南東	42 01.9	140 48.8	45	2	2000 年 11 月 22 日
		梨の木沢	42 06.6	140 40.9	122	2	2010 年 9 月 1 日
	遠望カメラ	鹿部公園南東	42 01.9	140 48.8	45	11	2001 年 2 月 1 日
		赤井川	42 01.1	140 38.5	177	1	2001 年 1 月 24 日
	G N S S	押出沢	42 04.6	140 39.2	345	3	2003 年 11 月 13 日
		東山腹	42 03.6	140 41.9	678	3	2000 年 12 月 20 日
		東円山	42 04.4	140 43.1	456	3	2004 年 11 月 11 日
		南山腹	42 03.0	140 41.2	647	3	2001 年 3 月 23 日
		姫川	42 04.1	140 35.3	125	3	2002 年 2 月 21 日
▲	傾斜計	西山麓	42 03.2	140 38.3	265	-12	2000 年 12 月 2 日
		梨の木沢	42 06.6	140 40.9	122	-100	2011 年 4 月 1 日